

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について

【平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月の進捗状況】

当金庫は恒久的な枠組みの下、持続可能な地域密着型金融の推進を図るべく、「基本方針」及び「地域密着型金融推進計画」を策定し、計画実現に努めています。平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月までの計画の進捗状況について取り纏めましたので公表いたします。

1. 基本方針

当庫は地域密着型金融の推進が地域の活性化、地域発展のために不可欠であることを認識し、また当庫の経営力強化にも地域密着型金融の推進が課題であることを位置づけ、地域の皆様が何を求めているか、当庫が地域の皆様に何が出来るか、この視点を踏まえて、地域密着型金融の推進に取り組みます。また一層の経営力の強化を図るため、ガバナンスの強化、コンプライアンス態勢・リスク管理態勢の強化に取り組みます。

2. 具体的取組みについて

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化として、「創業・新事業支援」、「経営改善支援」、「事業再生支援」、「事業承継支援」に取り組みました。

平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月までの「創業・新事業支援」の推進として、創業支援融資目標 40 先と掲げて取り組んだ結果、47 先 1,337 百万円の実績を上げ、目標を上回ることが出来ました。「経営改善支援」については、平成 19 年度に管理部融資リスク管理課を立ち上げ、2 年間に亘り経営改善支援の強化を図っています。また目利き能力の向上、経営支援ノウハウの修得を目指し、「目利き力養成・再生支援関連講座」に 87 名の派遣を致しました。「事業再生支援」については、再生支援先 183 先全てに与信方針協議書を作成して、再生支援に取り組み、ランクアップ目標 30 先に対し、68 先のランクアップが図られています。

「事業承継支援」については、事業承継に関する情報提供を実施し、M & A を含めた事業承継支援を図るべく、姫路商工会議所と「M & A の仲介業務に関する協定」を締結し、支援強化に取り組みました。また、「ばんしん後継者養成塾」において、事業承継に関する内容を講義に入れ、取引先の情報提供に取り組んでいます。

(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

担保・個人保証に過度に依存しない融資である「ばんしんがんばるローン・街づくり応援ローン域・生き」及び「ばんしんビジネスローン」について、目標以上の実績を上げることができました。また、マーケティングプロジェクトの一環として、当庫全融資先を対象に郵送アンケートを実施し

て、回答のあった内容をマーケティング手法を用いて分析。その分析結果に基づいて、顧客ニーズに合致する融資商品開発に取り組み、平成 20 年 9 月に新商品「ばんしん資金計画サポート証貸」を導入しました。

(3) 持続可能な地域経済への貢献

「地域の面的再生・活性化につながる多様なサービスの提供」、「地域社会への貢献・還元」、「地域の利用者の満足度を重視した経営」を推し進め、様々な取り組みを実施致しました。特に利用者の満足度を重視した取組みとして、当庫は毎年「店頭サービスお客様アンケート」を実施し、お客様のご意見要望を踏まえた経営に取り組んでいます。

(4) 経営力の強化に向けた取組みの徹底

「ガバナンスの強化」については、総代会に関する適切な情報開示に取り組むと同時に、経営情報の半期開示を実施しています。

「コンプライアンス態勢の強化」については、「反社会的勢力に対する基本方針」の策定、「クレーム・苦情基本的対応集」・「クレーム苦情具体的対応集」を作成し、コンプライアンス態勢強化に取り組んでいます。

「ITの戦略的活用」については、当庫は2007年5月に次期システムを構築し、顧客サービスのレベルアップを図り、統合データベースの構築も実現しています。また、自営でのバックアップシステムの構築に取り組み、平成21年1月に神戸バックアップセンターを稼働させています。

インターネットバンキングについても、セキュリティ強化としてワンタイムパスワードを導入、法人向けについては電子証明書を導入しています。

ATM機能は、懸賞金付定期預金対応、手のひら認証の相互利用、ジャーナルの電子化、ICカード振込機能対応、自動取消対応等のシステム構築は完了しており、順次展開中です。

3 . 進捗状況の評価及び今後の課題

平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月における地域密着型金融の推進実績については、平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月の進捗状況欄に記載のとおり、概ね計画どおりの実績を残すことができました。今後も、地域密着型金融の取組みの本質を踏まえて、地域密着型金融の更なる推進強化と公表数値目標の達成を図ってまいります。

4. 主要開示項目及び数値目標の進捗について（*印が主要開示項目 印が当庫公表数値目標）

	項目	平成 19 年度・平成 20 年度実績	
ライフサイクルに応じた支援強化	* 経営改善支援取組み率	21.5%	経営改善支援取組み先数 ÷ 期初債務者数（正常先除く） (183 先) (851 先)
	* 再生計画策定率	16.9%	再生計画策定先数 ÷ 経営改善支援取組み先数 (31 先) (183 先)
	* ランクアップ率	37.2%	ランクアップ先数 ÷ 経営改善支援取組み先数 (68 先) (183 先)
	ランクアップ先数	平成 19 年度・平成 20 年度目標 30 先	平成 19 年度・平成 20 年度実績 実績 68 先
	* 創業・新事業支援融資実績	40 先	実績 47 先 1,337 百万円
	目利き力養成・再生関連講座	67 名	実績 87 名
中小企業に適した資金供給手法の徹底	* 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績	100 先	ばんしんがんばるローン・街づくり応援ローン域・生き 実績 142 先 3,195 百万円
		1,030 先	ばんしんビジネスローン . . . 実績 1,037 先 24,020 百万円
		6 先	商工会議所メンバーズローン 実績 2 先 20 百万円
		10 先	多重債務者対応ローン 実績 3 先 6 百万円
		4 先	動産担保（ABL）融資 実績 5 先 60 百万円
		10 先	売掛債権担保融資 実績 5 先 1,351 百万円
		合計 1,160 先	実績 1,194 先 28,652 百万円

4. 主要開示項目及び数値目標の進捗について（*印が主要開示項目 印が当庫公表数値目標）

	項目	平成 20 年度実績	
ライフサイクルに応じた支援強化	* 経営改善支援取組み率	18.4%	経営改善支援取組み先数 ÷ 期初債務者数（正常先除く） (181 先) (985 先)
	* 再生計画策定率	6.6%	再生計画策定先数 ÷ 経営改善支援取組み先数 (12 先) (181 先)
	* ランクアップ率	25.4%	ランクアップ先数 ÷ 経営改善支援取組み先数 (46 先) (181 先)
	ランクアップ先数	平成 20 年度目標 15 先	平成 20 年度実績 実績 46 先
	* 創業・新事業支援融資実績	20 先	実績 12 先 258 百万円
	目利き力養成・再生関連講座	33 名	実績 37 名
中小企業に適した資金供給手法の徹底	* 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績	50 先	ばんしんがんばるローン・街づくり応援ローン域・生き 実績 27 先 453 百万円
		520 先	ばんしんビジネスローン . . . 実績 280 先 6,285 百万円
		3 先	商工会議所メンバーズローン 実績 0 先 0 百万円
		5 先	多重債務者対応ローン 実績 2 先 4 百万円
		2 先	動産担保（ABL）融資 実績 5 先 60 百万円
		5 先	売掛債権担保融資 実績 2 先 171 百万円
		合計 585 先	実績 316 先 6,973 百万円

具体的取組み及び具体的目標（平成19年度～平成21年度）

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成19年4月～平成21年3月進捗状況	平成20年4月～平成21年3月進捗状況
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化				
事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・早期事業再生に向けた積極的取組み ・再生支援協議会等との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生支援委員会の機能アップを図り、早期事業再生及び経営改善を図る ・再生支援対象先をリストアップし、再生支援に取り組む ランクアップ目標 平成19年度15先、平成20年度15先 平成21年度15先 3ヶ年計45先 ・積極的に中小企業再生支援協議会との連携・活用を図り、事業再生スキームの再生手法を活用した事業再生支援に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年10月、新再生支援委員会を立ち上げ、再生支援先183先をリストアップし、全先に対し与信方針協議書を策定、これに基づき個別に支援を図りました。 ・平成19年4月～平成21年3月でのランクアップ先68先。 ・中小企業再生支援協議会との連携により、3社を再生支援実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生支援先183先に対して策定した与信方針協議書に基づき、個別に支援策を図りました。 ・再生支援対象先183先、平成20年4月～平成21年3月でのランクアップ先46先 ・中小企業再生支援協議会との連携により、2社を再生支援実施。
創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業展開に応じた適切な支援の強化 ・創業・新事業展開に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援関連融資を積極的に推進する 創業支援融資目標 平成19年度20先、平成20年度20先 平成21年度20先、3ヶ年計60先 ・商工会議所・商工会、政府系金融機関等との連携強化を図り、創業・新事業支援に結びつく情報提供の推進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・「創業支援融資」の実績については47先1,337百万円と目標を上回ることが出来ました。 ・商工会議所、商工会、政府系金融機関との連携強化に努めると同時に、創業支援機関でもある「中小企業支援ネットひょうご」を当庫ホームページに掲載し、情報提供の推進を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「創業支援融資」の平成20年度実績 12先 258百万円

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化				
経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な情報提供・経営指導・相談 ・目利き能力の向上、人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・融資先のモニタリング強化を行い、相談対応、経営改善指導及び公的制度等に係る情報提供の推進を図る ・後継者の育成、ビジネスマッチング、経営における情報提供を目的とした「後継者養成塾」の定期的開催 ・目利き能力の向上、事業再生ノウハウの習得を目指す人材育成を徹底する 目利き力養成・再生関連講座参加目標 平成 19 年度 34 名、平成 20 年度 33 名 平成 21 年度 33 名 3 ヶ年計 100 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 19 年 6 月に管理部融資リスク課を立ち上げ、再生支援先 183 先に対し、「与信方針協議書」を作成し、「再生計画」策定を含む、相談対応、経営改善指導の強化を図りました。 31 先の再生支援先に対し「再生計画」を策定致しました。 ・「ばんしん後継者養成塾」は 23 回開催 延べ 1,138 名の参加を得ています。 ・目利き力養成・再生関連講座に 87 名参加し、目標を上回りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・12 先の再生支援先に対し、「再生計画」を策定致しました。 ・「ばんしん後継者養成塾」は 12 回開催 延べ 672 名の参加を得ています。 ・目利き力・再生関連講座 37 名派遣
事業承継支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継に関する情報提供 ・M & A を含めた事業承継支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店への定期的な M & A 情報の提供を実施する ・事業承継に関する勉強会の開催等、積極的な事業承継支援の強化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路商工会議所との「M & A の仲介業務に関する協定書」に基づいて M & A の情報提供を実施いたしました。 ・「ばんしん後継者養成塾」において、事業承継に関する講義を開催。取引先への情報提供に組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・M & A の情報提供に随時、取り組みました。 ・「ばんしん後継者養成塾」において、事業承継を含む経営のノウハウを学ぶ講義を開催しました。

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況																																								
2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底																																												
担保・個人保証 に過度に依存し ない融資	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の支援強化の取組み、 中小企業金融における貸 出機能の強化を図るべ く、不動産担保・個人保 証に過度に依存しない融 資の推進 ・多重債務者問題解決への 一定の役割発揮 	<p>・ 具体的数値目標</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>19 年度</th> <th>20 年度</th> <th>21 年度</th> <th>3 ヶ年合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ばんしんがんばるローン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>街づくり応援ローン域・活き</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>50 先</td> <td>50 先</td> <td>50 先</td> <td>150 先</td> </tr> <tr> <td>ばんしんビジネスローン</td> <td>510 先</td> <td>520 先</td> <td>520 先</td> <td>1,550 先</td> </tr> <tr> <td>商工会議所メンバーズローン</td> <td>3 先</td> <td>3 先</td> <td>3 先</td> <td>9 先</td> </tr> <tr> <td>多重債務者対応ローン</td> <td>5 先</td> <td>5 先</td> <td>5 先</td> <td>15 先</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>568 先</td> <td>578 先</td> <td>578 先</td> <td>1,724 先</td> </tr> </tbody> </table> <p>「ばんしんビジネスローン」は「ビジネスローン」と内容が類似しているため「ビジネスローン」に加え ました。 また、新たに「ビジネスローン」を導入したので目標 に加え、「ばんしんビジネスローン」としま した。 「街づくり応援ローン域・活き」も新たに導入したので 目標項目に加えています</p>		19 年度	20 年度	21 年度	3 ヶ年合計	ばんしんがんばるローン					街づくり応援ローン域・活き						50 先	50 先	50 先	150 先	ばんしんビジネスローン	510 先	520 先	520 先	1,550 先	商工会議所メンバーズローン	3 先	3 先	3 先	9 先	多重債務者対応ローン	5 先	5 先	5 先	15 先	合 計	568 先	578 先	578 先	1,724 先	<ul style="list-style-type: none"> ・ばんしんがんばるローン 街づくり応援ローン域・活き 142 先 3,195 百万円 ・ばんしんビジネスローン 1,037 先 24,020 百万円 ・商工会議所メンバーズローン 2 先 20 百万円 ・多重債務者対応ローン 3 先 6 百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ばんしんがんばるローン 街づくり応援ローン域・活き 27 先 453 百万円 ・ばんしんビジネスローン 280 先 6,285 百万円 ・多重債務者対応ローン 2 先 4 百万円
	19 年度	20 年度	21 年度	3 ヶ年合計																																								
ばんしんがんばるローン																																												
街づくり応援ローン域・活き																																												
	50 先	50 先	50 先	150 先																																								
ばんしんビジネスローン	510 先	520 先	520 先	1,550 先																																								
商工会議所メンバーズローン	3 先	3 先	3 先	9 先																																								
多重債務者対応ローン	5 先	5 先	5 先	15 先																																								
合 計	568 先	578 先	578 先	1,724 先																																								

2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底

<p>中小企業に適した資金供給手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業に適した資金供給手法である融資商品を積極的に推進する ・ 顧客ニーズを踏まえた融資商品等の提供及び個人・小規模事業者の資金ニーズに対するきめ細やかな対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的数値目標 <table border="1" data-bbox="992 181 1400 309"> <thead> <tr> <th></th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>3ヶ年合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>動産担保融資</td> <td>2先</td> <td>2先</td> <td>2先</td> <td>6先</td> </tr> <tr> <td>売掛債権担保融資</td> <td>5先</td> <td>5先</td> <td>5先</td> <td>15先</td> </tr> </tbody> </table> ・ マーケティングプロジェクトを立ち上げ、顧客ニーズを科学的に分析し、資金ニーズにきめ細かく対応する為、その詳細な分析結果に基づく融資対応を図る 		19年度	20年度	21年度	3ヶ年合計	動産担保融資	2先	2先	2先	6先	売掛債権担保融資	5先	5先	5先	15先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動産担保融資 5先 60百万円 ・ 売掛債権担保融資 5先 1,351百万円 ・ マーケティングプロジェクトとして、全融資先に郵送アンケートを実施。顧客ニーズに合致する融資商品開発に取組み、平成20年9月に新商品「ばんしん資金計画サポート証貸」を導入しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動産担保融資 5先 60百万円 ・ 売掛債権担保融資 2先 171百万円 ・ 平成20年9月に新商品「ばんしん資金計画サポート証貸」を導入。 平成20年実績 22件 1,118百万円
		19年度	20年度	21年度	3ヶ年合計														
動産担保融資	2先	2先	2先	6先															
売掛債権担保融資	5先	5先	5先	15先															

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況
3 . 持続可能な地域経済への貢献				
地域の面的再生・活性化につながる多様なサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチング等を活用した支援 ・地域との連携強化 ・景気動向調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチング等を活用した企業のマッチング支援を図る ・専門家・コンサル等による講演会等を開催し、情報提供し、地域への連携強化を図る ・多重債務者問題への対応として、多重債務者対応ローンの取扱を開始 ・3ヶ月毎に継続した景気動向調査を実施し、地域の経済動向を公表することで地域経済への貢献を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年 7 月に開催された「国際ビジネスフェア in 姫路」の実行委員会のメンバーとなると同時に協賛を行い、当庫取引先 13 社が出展しました。 ・医療業対象講演会開催 実施回数 2 回 延べ参加人数 109 名 ・遊戯業対象講演会開催 実施回数 2 回 延べ参加人数 89 名 ・賃貸セミナー開催 実施回数 1 回 延べ参加人数 56 名 ・多重債務者対応ローンとして「ばんしんおまとめローン」を 2008 年 4 月より取扱開始。 実績 3 先 6 百万円 ・「ばんしん景況レポート」8 回発行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「国際ビジネスフェア in 姫路」の支援及び協賛を行い、当庫取引先 13 社が出展しました。 ・遊戯業対象講演会開催 (7 月 2 日) 延べ参加人数 46 名 ・賃貸セミナー開催 (7 月 9 日) 延べ参加人数 56 名 ・多重債務者対応ローン取扱開始 実績 2 先 4 百万円 ・「ばんしん景況レポート」年 4 回発行 (2008 年 4 月、7 月、10 月、2009 年 1 月)

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況
3 . 持続可能な地域経済への貢献				
地域社会への貢献・還元	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会への貢献・還元を行なう 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達が自然に触れあい、環境への意識を高める取組への協賛及びボランティアの派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・「移動水族館」へのボランティア支援。 支援回数 20 回 当庫ボランティア参加人数 延べ 39 名 ・ベトナム人の日本語指導への支援・協賛 日本語検定試験費用支援 日本語スピーチコンテストへの協賛 	<ul style="list-style-type: none"> ・「移動水族館」へのボランティア支援。 支援回数 14 回 当庫ボランティア参加人数 延べ 27 名 ・日本語検定試験支援 受験者 3 名 ・日本語スピーチコンテストへの協賛
地域の利用者の満足度を重視した経営	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・金庫に対する意見や要望、利用者ニーズを把握するためのアンケート調査等を年 1 回実施し、アンケート結果を踏まえて、利用者満足度向上に向けた施策の検討を行い、併せて業務改善が必要な事項について、適切な改善の実施に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年 2 月及び平成 21 年 2 月に全営業店窓口で来店客を対象とした『店頭サービスお客様アンケート』を実施。 ・全営業店で実施した『店頭サービスお客様アンケート』の結果を総代会で報告するとともに、本部・営業店へ還元。 ・アンケート結果を踏まえ、各営業店・本部において、利用者満足度の向上を図るよう努めました。 ・『お客様満足度向上に向けた取り組み』として、ホームページに開示しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年度に実施した『店頭サービスお客様アンケート』の結果を全役職員に還元。前年度に引き続き、ATMコーナーの増設や新店舗の開設、既存店舗のリニューアル等、店舗設備の充実に努めるとともに、全店をあげて窓口対応の向上に取り組みました。 ・平成 20 年度の取り組みとして、平成 21 年 2 月に全営業店（63 カ店）で『店頭サービスお客様アンケート』を実施しました。

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況
4 . 経営力の強化に向けた取組の徹底				
ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会の機能向上等に向けた取組の実施 ・半期開示の充実に向けた取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会に関する適切な情報開示を行うとともに、総代会の機能向上等に向けた取組を継続して推進する。また、会員の意見・ニーズ等を把握する態勢づくりに継続的に取組むとともに会員の意見等を踏まえた改善策等に取り組み、会員との関係強化を図る ・経営情報の半期開示を継続して実施するとともに、ディスクロージャー誌等について開示項目の内容等の拡充を図り、より分かりやすい情報開示に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の意見・ニーズ等を把握し、会員の意見等を踏まえた対応を図るために、会員を含めた融資先にアンケートを実施し、意見・ニーズの分析を行いました。 ・業務報告書に総代会制度について掲載し、会員への周知に努めました。 ・半期情報開示は全信協自主申し合わせ事項を踏まえ、毎年 11 月に開示。パーゼル 第 3 の柱に関する事項についても開示しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会に関する情報開示として、ディスクロージャー誌に総代会のしくみ、総代選任に関する事項及び総代氏名を掲載し、全会員に送付しました。 ・業務報告書に総代会制度について掲載し、会員への周知に努めました。 ・半期情報開示はより分かりやすい情報開示に努めました。
コンプライアンス態勢の強化		<ul style="list-style-type: none"> ・法令等遵守態勢の強化 コンプライアンス規程等の見直し実施 研修・勉強会実施によるコンプライアンス意識の周知徹底 コンプライアンス委員会等の実効性検証 ・顧客保護等管理態勢を高める 顧客保護規程等の見直し、整備 相談、苦情対応機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンプライアンス方針」及びその方針に従った規程の整備及び、具体的事例をテーマとした研修・勉強会の実施。 ・反社会的勢力対応規程・マニュアルを作成。 ・「顧客保護等管理方針」及びその方針に従った規程の整備。 ・当庫イントラネットに苦情事例を掲載し、苦情対応機能の強化を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「事例に学ぶ信用金庫職員のコンプライアンス」を参考にし、全部署で勉強会を開催。コンプライアンス徹底を図りました。 ・反社会的勢力に対する基本方針を策定しました。 ・「クレーム・苦情基本的対応集」「クレーム苦情具体的対応集」を作成。顧客への説明を適切に行うよう徹底しました。

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況
4 . 経営力の強化に向けた取組の徹底				
リスク管理態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・信用リスク管理態勢の充実 ・市場リスク管理態勢の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「信用格付管理規程」、「問題債権管理規程」、「与信ポートフォリオ管理規程」、「大口与信管理規程」等の各規程を整備し、信用リスク管理態勢の充実・強化を図る ・市場リスク管理態勢の整備 「市場関連リスク管理要領」の改定、「余資運用規程」及び「市場リスク管理規程」を制定し、市場関連リスクの管理指標を明確にし、市場関連リスクの管理手法をより強固なものとする ・パーゼルの対応 自己資本比率算出システムを導入し、より精緻 	<ul style="list-style-type: none"> ・「信用格付細則」、「問題債権管理細則」、「与信ポートフォリオ管理細則」、「大口与信管理細則」の策定及び改訂。 ・金利リスク、為替リスク、価格変動リスク等による資産の価値や収益の喪失を被るリスクを管理する態勢を整備するため、「市場リスク管理方針」、「市場リスク管理規程」、「余資運用細則」、「余資運用に係るリスク管理細則」、「自己査定に伴う有価証券の減損処理判断基準」を制定及び改定しました。 ・月次で余資運用の実績、評価損益、BVP、VaR(6 カ月)の計測及びリスク限度額との対比を実施し、リスク管理を徹底しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信用リスク管理態勢の充実、強化を図るため「信用格付細則」及び「問題債権管理細則」、「大口与信管理細則」を改訂。 ・「市場・流動性リスク管理委員会」で 3 カ月後、6 カ月後、1 年後の市場の主要金利、日経平均、為替、預貸金利回りの予測を毎月協議し、運用方針の改善に役立てています。 ・パーゼルの対応として、『RiskTaker 新 BIS 標準的手法規制対応システム』を導入し、システムによる自己資本比率を算出し、エクスポージャー(与信)のリスクウェイトの見直しにも対応しています。

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況
4 . 経営力の強化に向けた取組の徹底				
リスク管理態勢の強化			<ul style="list-style-type: none"> ・新 BIS 対応の自己資本比率算出のため、『RiskTaker 新 BIS 標準的手法規制対応システム』を導入し、データーのスクリーニングとシュミレーションを重ねた結果、平成 20 年 3 月よりリスク・アセット額が算出可能となるシステムが完成しました。システム導入により、複雑で多くの規制がある信用リスク・アセット額を算出するために要する時間、労力のコスト削減及び適正なデーター収集が可能となり、自己資本比率算出作業の迅速化を図っています。 ・金庫の健全性・安全性の指標となる自己資本比率の拡充及び自己資本充実度の管理態勢を整備するため「自己資本管理方針」、「自己資本管理規程」を制定しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己資本管理 平成 20 年度の「銀行等の自己資本比率規制の一部の弾力化する特例」、「合理的に算出された価額を時価とみなせる件」等の改正を受けて、弾力化措置により自己資本からその他有価証券評価差損を控除しない算出方法を実施しています。

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月進捗状況
4 . 経営力の強化に向けた取組の徹底				
I T の戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> ・次期システム構築を含めたシステム開発ならびにビジネスモデルに応じた I T の戦略的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足の為の統合データベースの有効利用 ・インターネットバンキングサービスの推進・セキュリティ強化 ・災害時の業務継続に向けた自営でのバックアップシステムの構築 ・A T M機能拡充による顧客利便性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合データベースシステムを構築し、平成 20 年 10 月より各サブシステムとの連携利用など拡大を図っています。 ・インターネットバンキングのセキュリティ強化を行い、ワンタイムパスワード、電子証明書を導入し、契約数も増加しています。 ・神戸本部完成後、自営でのバックアップセンターを平成 21 年 1 月より稼働させています。 ・A T M機能拡充として、「懸賞金付定期預金対応」「手のひら認証の相互利用」「ジャーナルの電子化」「IC カード振込機能対応」「自動取消対応」のシステム構築が完了しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合データベースシステム構築後、各サブシステムとの連携利用の開発を行い、順次システム運用を開始しています。 ・ワンタイムパスワード、電子証明書の導入にてインターネットバンキングのセキュリティ強化を行い、契約数増加しています。 ・自営でのバックアップセンター構築に向けての開発が終了し、平成 21 年 1 月より稼働しています。 ・A T M機能拡充のシステム構築にて、営業店に順次、展開中です。